

1 趣旨

県教育委員会では、社会のデジタル化の進展など時代の要請に応じた図書館サービスを実現していくために、新たな時代に向けた埼玉県立図書館の目指す図書館像や機能、役割などをまとめた「新埼玉県立図書館基本構想」を令和5年10月に策定しました。

この基本構想において示した重点機能及び主なサービスを踏まえ、新埼玉県立図書館の施設整備の方向性及び設置場所の候補地を定めるものです。

参考：新埼玉県立図書館基本構想

3.2. 新たな県立図書館が目指す図書館像

ch.03. 新たな県立図書館の方向性と目指す図書館像

新たな県立図書館は、

埼玉の多彩な地域や文化に関する資料はもとより、市町村立図書館にはない図書など
県民の情報への幅広いアクセスを可能とし、新たな時代の学び・交流・創造を育むとともに、
デジタル技術を最大限に活用して、
時間の制約なく（いつでも）、居場所にかかわらず（どこでも）、多様なニーズに応える（だれでも）、
県民が新たな価値を創造する埼玉の知の拠点へ

新たな県立図書館
が目指す図書館像

- 目指す図書館像 1 埼玉の地域資料の拠点となる図書館
- 目指す図書館像 2 来館しなくても県民誰もがサービスを楽しめる図書館
- 目指す図書館像 3 県内図書館サービス全体の充実に資する図書館
- 目指す図書館像 4 県民の新たな時代の学び・交流・創造を育む図書館

25

3.3. 新たな県立図書館の重点機能

ch.03. 新たな県立図書館の方向性と目指す図書館像

- 目指す図書館像を実現していくため、新たな県立図書館においては、主に次の機能を重点に置き、現在の法制度やデジタル技術の状況及び今後の動向を的確に踏まえつつ充実・強化していく。

機能① 埼玉ゆかりの地域資料の収集・提供・保存機能

- ✓ 埼玉ゆかりの地域資料を幅広く収集・提供する機能
- ✓ 埼玉ゆかりの紙資料及びデジタル資料を適切に保存する機能



機能② デジタルライブラリー機能

- ✓ デジタル技術を活用した図書館サービスを提供する機能
- ✓ 国立国会図書館及び県内博物館等の資料など多様な情報へアクセスできる機能



機能③ 県内図書館サービスの補完・つなぎ・支援機能

- ✓ 市町村立図書館等にはない専門図書等の収集などの補完機能
- ✓ 相互貸借や蔵書横断検索などの県内図書館をつなぎ機能
- ✓ 市町村立図書館等職員の人材育成などの支援機能



機能④ 交流・価値創造機能

- ✓ 県民同士のつながりを育み、県民の学びあいを支援する機能
- ✓ 県民の対話等により生み出された新たな価値を保存・提供し、県民の交流を促進する機能



26

2 施設整備の方向性

新埼玉県立図書館は、将来的に、デジタル技術を最大限に活用した非来館型サービスが中心となり、来館が必要となる利用は限定的になるものと想定していることから、県民が直接利用するスペースはコンパクトなものとすることを基本とします。

なお、当面は、紙の資料の貸出（市町村立図書館との相互貸借含む。）や貸出不可の資料の来館利用などを続けることを加味し、基本構想において示した重点機能及び主なサービスを踏まえ、施設整備の方向性を整理します。

参考：新埼玉県立図書館基本構想

3. 4. 新たな県立図書館の主なサービス	
ch. 03. 新たな県立図書館の方向性と目指す図書館像	
重点機能	主なサービス
機能① 埼玉ゆかりの地域資料の 収集・提供・保存機能	埼玉ゆかりの地域資料の収集と提供(紙資料及びデジタルアーカイブ化による提供)
	継続的な資料提供サービスのための図書等の閉架書庫での保管・保存
	市町村立図書館等と連携した図書等搬送・貸出サービス
	県民の対話等により生み出された成果の保存・提供サービス
機能② デジタルライブラリー機能	埼玉ゆかりの地域資料の収集と提供(紙資料及びデジタルアーカイブ化による提供)
	電子書籍の導入、デジタル化資料提供サービスの拡大
	充実した書誌情報による蔵書検索、横断検索、及び図書館所蔵資料に限らない検索サービス（ディスカバリーサービス）
	リアルとデジタルの多様なコミュニケーション手段によるレファレンスサービス
機能③ 県内図書館サービスの 補完・つなぎ・支援機能	国立国会図書館デジタルコレクション [※] 及び博物館等の外部機関につなぐサービス
	埼玉ゆかりの地域資料の収集と提供(紙資料及びデジタルアーカイブ化による提供)
	専門図書や多様性に配慮した図書等の収集とデジタルアーカイブ化による提供サービス
	リアルとデジタルの多様なコミュニケーション手段によるレファレンスサービス
	市町村立図書館等と連携した図書等搬送・貸出サービス
	県内図書館間の資料の搬送支援
機能④ 交流・価値創造機能	図書館職員等の資質・能力向上支援、市町村立図書館への先進事例提供等の運営支援
	国立国会図書館デジタルコレクション [※] 及び博物館等の外部機関につなぐサービス
	県民の学び合いを支援するリアルとデジタルでの交流機会の提供サービス
	県民の対話等により生み出された成果の保存・提供サービス

※主なサービスのうち、複数の重点機能につながるサービスは一部重複して記載しています。

機能① 埼玉ゆかりの地域資料の収集・提供・保存機能

- ✓ 埼玉ゆかりの地域資料を幅広く収集・提供する機能
- ✓ 埼玉ゆかりの紙資料及びデジタル資料を適切に保存する機能

サービス実施上の視点・留意点

- 地域資料は後世にわたり継続的に提供していく必要があることから、保存を優先する（貸出不可）。
- 来館しなくても閲覧できるよう、紙の資料のデジタル化・公開を積極的に実施する。
- 著作権保護期間中によりデジタル化・公開ができない紙の資料は来館しての閲覧が必要。
- 電子書籍及び紙の資料を継続的に収集・保存する。

<主なサービス>

- 埼玉ゆかりの地域資料の収集と提供（紙資料及びデジタルアーカイブ化による提供）
- 継続的な資料提供サービスのための図書等の閉架書庫での保管・保存
- 市町村立図書館等と連携した図書等搬送・貸出サービス
- 県民の対話等により生み出された成果の保存・提供サービス

施設整備の考え方

- ✓ 紙の資料を適切に保存できる閉架書庫を設ける。
※充実した書誌情報による検索機能をデジタルライブラリー上で実現する。
※紙の資料はオープンスペースに配架しないことを基本とする。
- ✓ 紙の資料は引き続き来館しての利用を想定し、コンパクトな閲覧スペースを設ける。
※閲覧スペースには、デジタル化された資料を閲覧できる機器等の設置を検討する。
- ✓ デジタル化資料の保存先は外部サーバーも含めて検討する。



機能② デジタルライブラリー機能

- ✓ デジタル技術を活用した図書館サービスを提供する機能
- ✓ 国立国会図書館及び県内博物館等の資料など多様な情報へアクセスできる機能

<主なサービス>

- 埼玉ゆかりの地域資料の収集と提供（紙資料及びデジタルアーカイブ化による提供）
- 電子書籍の導入、デジタル化資料提供サービスの拡大
- 充実した書誌情報による蔵書検索、横断検索、及び図書館所蔵資料に限らない検索サービス（ディスカバリーサービス）
- リアルとデジタルの多様なコミュニケーション手段によるレファレンスサービス
- 国立国会図書館デジタルコレクション及び博物館等の外部機関につなぐサービス

サービス実施上の視点・留意点

- 電子書籍の導入やデジタル化資料の充実を図る。
※充実した書誌情報による検索機能をデジタルライブラリー上で実現する。
※国立国会図書館や県内博物館の資料など多様な情報へアクセスできる。
- 紙の資料はオンラインで予約、最寄りの市町村立図書館等を通じて貸し出す。
- メール・チャットを利用したレファレンスサービス*を実施する。
※ICTに不慣れな方は引き続き来館して図書館職員のサポートの下で利用する。



施設整備の考え方

- ✓ 市町村立図書館等への効率的な搬送のために、現状で熊谷・外部書庫（玉川）・久喜に分散している資料を1か所に集約して保存する。
- ✓ ICTに不慣れな方へのサポートなど、対面サービス対応のためのコンパクトな受付カウンター等を設ける。
※受付カウンター付近には蔵書検索・予約が行える機器等の設置を検討する。

機能③ 県内図書館サービスの補完・つなぎ・支援機能

- ✓ 市町村立図書館等にはない専門図書等の収集などの補完機能
- ✓ 相互貸借や蔵書横断検索などの県内図書館をつなぐ機能
- ✓ 市町村立図書館等職員の人材育成などの支援機能

<主なサービス>

- 埼玉ゆかりの地域資料の収集と提供（紙資料及びデジタルアーカイブ化による提供）
- 専門図書や多様性に配慮した図書等の収集とデジタルアーカイブ化による提供サービス
- リアルとデジタルの多様なコミュニケーション手段によるレファレンスサービス
- 市町村立図書館等と連携した図書等搬送・貸出サービス
- 県内図書館間の資料の搬送支援
- 図書館職員等の資質・能力向上支援、市町村立図書館への先進事例提供等の運営支援
- 国立国会図書館デジタルコレクション及び博物館等の外部機関につなぐサービス

サービス実施上の視点・留意点

- 専門図書や多様性に配慮した図書（点字図書や外国語資料）等を収集する。
- 電子書籍及び紙資料を継続的に収集・保存する。
- 市町村立図書館等への資料搬送サービスの充実を図る。
- 市町村立図書館等職員向け研修はオンラインや動画配信による実施を基本とする。
※実演を含む対面研修を必要に応じて行う。

施設整備の考え方

- ✓ デジタル化資料の保存先は外部サーバーも含めて検討する。
- ✓ 紙の資料を適切に保存できる閉架書庫を設ける。
- ✓ 市町村立図書館等への効率的な搬送のために、現状で熊谷・外部書庫（玉川）・久喜に分散している資料を1か所に集約して保存する。
- ✓ 資料仕分けや荷下ろしスペースなど必要な施設を設ける。
- ✓ 対面による研修を行うためのコンパクトなスペースを設ける。



機能④ 交流・価値創造機能

- ✓ 県民同士のつながりを育み、県民の学び合いを支援する機能
- ✓ 県民の対話等により生み出された新たな価値を保存・提供し、県民の交流を促進する機能

<主なサービス>

- 県民の学び合いを支援するリアルとデジタルでの交流機会の提供サービス
- 県民の対話等により生み出された成果の保存・提供サービス

サービス実施上の視点・留意点

- 県民の交流機会の提供のため、ミーティングや講座等を行う。
※オンラインを活用しつつ必要に応じて対面での講座等を行う。
- 県民の対話により生み出された成果を電子書籍・デジタル化資料の形で保存し、提供する。



施設整備の考え方

- ✓ 対面での講座等を行うためのコンパクトなスペースを設ける。
- ✓ 電子書籍・デジタル化資料の保存先は外部サーバーも含めて検討する。

機能①から④までの施設整備の考え方から、施設整備の方向性を以下のとおりまとめます。

施設整備の方向性

1. デジタル技術を最大限に活用した非来館型サービスを中心とすることを目指しつつ、相当期間残る紙資料を使ったサービスのための、コンパクトなスペース（閲覧スペースや受付カウンター、研修・講座スペースなど）を設ける。
2. 紙資料等はオープンスペースに配架しないことを基本とし、適切に保存できる閉架書庫を設ける。
3. 効率的な搬送のために資料を1か所に集約し保存するとともに、資料仕分けや荷下ろしスペースなど必要な施設を設ける。

3 設置場所に求める要素

施設整備の方向性から、設置場所に求める要素を整理します。

施設整備の方向性

1. デジタル技術を最大限に活用した非来館型サービスを中心とすることを目指しつつ、相当期間残る紙資料を使ったサービスのための、コンパクトなスペース（閲覧スペースや受付カウンター、研修・講座スペースなど）を設ける。
2. 紙資料等はオープンスペースに配架しないことを基本とし、適切に保存できる閉架書庫を設ける。
3. 効率的な搬送のために資料を1か所に集約し保存するとともに、資料仕分けや荷下ろしスペースなど必要な施設を設ける。



設置場所に求める要素

デジタル技術を活用した非来館型サービスが中心となるため、設置場所は県内広く候補地となり得る。一方で、資料の搬送や来館を伴う一部サービスの継続の観点などから、以下が設置場所の要素として求められる。

- ① 図書等の各市町村立図書館等への効率的な搬送のため、県立図書館から県内各地域へのアクセスが良いこと
- ② 貸出不可資料の閲覧等のため、県民から県立図書館へのアクセスが良いこと
- ③ 公有地の活用が見込めるなど、土地の確保が容易であること

4 設置場所の候補地

(1) 候補地域

要素① 図書等の各市町村立図書館等への効率的な搬送のため、県立図書館から県内各地域へのアクセスが良いこと

- ✓ 現在、県立熊谷図書館を拠点に、資料搬送協力車が市町村立図書館等を巡回（全11ルート、各館原則週1回）。
- ✓ 県の中央に位置する地域が新たな候補地と考えられるが、搬送状況の大幅な効率化は見込めない。
- ✓ 県立熊谷図書館を起点とした既存ルートの便数増加などで効率化を図ることが可能。

要素② 貸出不可資料の閲覧等のため、県民から県立図書館へのアクセスが良いこと

- ✓ 南部・県央・北部地域は、公共交通機関による県内各地域からのアクセスに優れている。

要素③ 公有地の活用が見込めるなど、土地の確保が容易であること

- ✓ 現在、北部地域振興交流拠点整備の検討が進められており、熊谷市とその近辺において公有地の早期活用が見込める。

新埼玉県立図書館の設置場所は熊谷市とその近辺を候補地として検討

(2) 候補地

ア 北部地域振興交流拠点の整備検討状況

北部地域振興交流拠点は大きく分けて「地域の活力向上機能」と「未来の県庁の先行モデル機能」のそれぞれの機能を有する2施設の整備が検討されています。

地域の活力向上機能	
事業予定地①(A棟)	
敷地概要	- 敷地面積 8,153㎡(市道含む) ※県(53%)、市(47%)
整備内容(予定)	【埼玉県】 - 産業振興施設 - 埼玉県立高等看護学院 - 埼玉県立病院サテライト 【熊谷市】 - 熊谷市役所



未来の県庁の先行モデル機能	
事業予定地②(B棟)	
敷地概要	- 敷地面積 21,282㎡ ※熊谷地方庁舎敷地
整備内容(予定)	【埼玉県】 - 地域機関の集約 (熊谷地方庁舎内地域機関、大里農林振興センター、営繕・公園事務所、熊谷県土整備事務所、熊谷建築安全センター) - 本庁機能の一部 - サテライトオフィス

イ 新埼玉県立図書館の整備候補地 (ア) 北部地域振興交流拠点の活用

北部地域振興交流拠点は設置場所の候補地に求める要素を全て満たすほか、産業振興機能の整備や周辺の県地域機関、熊谷市関係施設の集約が検討されており、これら機関との相互連携により、図書館サービスの充実が期待されます。

特に「地域の活力向上機能」を目指す A 棟は、貸出不可の地域資料の閲覧や、予約資料の貸出など、来館が必要な対面サービスを行う施設として最適な候補地と考えます。

一方、図書・資料の収集保存や、市町村立図書館への図書・資料の搬送などのその他のサービスを行う施設には、別途広大なスペースが必要となります。

そこで、来館が必要な対面サービスを行う窓口機能を北部地域振興交流拠点（A 棟）内に、その他の機能を別に整備することを検討します。

新埼玉県立図書館の重点機能

埼玉ゆかりの地域資料の収集・提供・保存機能
デジタルライブラリー機能
県内図書館サービスの補完・つなぎ・支援機能
交流・価値創造機能

来館が必要な対面サービスを行う「窓口機能」

- ✓ 地域資料など貸出不可資料の閲覧機能
- ✓ 地域資料を速やかに提供するための収集・保存機能
- ✓ 予約図書の貸出窓口・レファレンスカウンター
- ✓ 県民の学びを深める講座等の実施(リアルで実施するもの)

その他の機能

- ✓ 図書・資料(地域資料以外)の収集・保存
- ✓ 市町村立図書館への図書・資料の搬送
- ✓ 市町村立図書館の支援
- ✓ デジタルライブラリーの運用
- ✓ オンラインレファレンス・講座など

北部地域振興交流拠点
(A棟)内に整備

別に整備

イ 新埼玉県立図書館の整備候補地
(イ) その他の機能の整備候補地

その他の機能を備える施設は、設置場所に求める要素①「県立図書館から県内各地域へのアクセスが良いこと」が求められ、北部地域振興交流拠点の整備により活用可能となる見込みの県有地が候補地となり得ます。

一方、将来的に非来館型サービスの充実を目指すものの、相当期間紙資料の提供サービスは継続する見込みであり、対面サービスの窓口と一体的にサービスを提供するため、その他の機能は北部地域振興交流拠点（A棟）の近隣に整備することが望ましいと考えられます。

北部地域振興交流拠点（A棟）との近接性を考慮した場合、「現熊谷図書館」及び「現熊谷地方庁舎（A駐車場）」が候補地として考えられますが、建設時のサービス継続に係るコスト等を考慮し、「現熊谷地方庁舎（A駐車場）」を候補地として検討を進めることとします。

施設名	北部地域振興交流拠点（A棟）との距離	土地面積	用途地域（建ぺい率・容積率）	備考
県立熊谷図書館 （熊谷市箱田5-6-1）	約900m （徒歩12分）	4,163㎡	第一種住居地域 （60％・200％）	● 現建物の除却が必要 ● 建て替え時のサービス提供場所の確保が必要 ● 建て替え時と完成時の2回資料の移動が発生
熊谷地方庁舎A駐車場* （熊谷市末広3-9-1）	約1,000m （徒歩14分）	4,868㎡ （A駐車場部分）	第一種住居地域 （60％・200％）	● 車庫の除却が必要 ● 建物完成まで熊谷図書館でサービス継続が可能 ● 資料の移動は1回

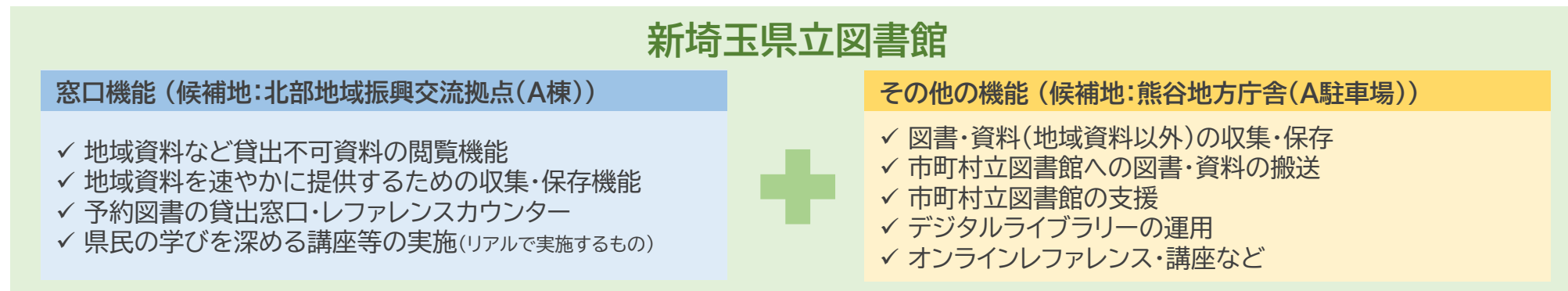
*熊谷地方庁舎敷地に整備予定の北部地域振興交流拠点(B棟)とは別に整備



出典：国土地理院ウェブサイト 地理院地図を加工して作成

ウ 新埼玉県立図書館の整備の方向性

新埼玉県立図書館は既存施設を集約し、熊谷市を候補地として、二つの施設で一体的に整備します。



新埼玉県立図書館の主な利用イメージ

- オンラインサービスを中心とし、来館することなくサービスを提供
 - 県立図書館の資料だけでなく、国会図書館や博物館の所蔵資料、大学等研究機関の研究論文など一括で検索
 - 電子書籍の導入などデジタルコンテンツを提供
 - レファレンスや交流・価値創造の取組をオンライン等で実施
- 紙資料の貸出しは、オンラインで予約を受け付け、該当図書を最寄りの市町村立図書館等へ搬送
- 地域資料（貸出不可）の閲覧等については来館で対応

